

IISS ワークショップ / RIEB 政策研究ワークショップ

「マクロ財政・金融政策効果の実証的評価」

日 時 : 2014 年 10 月 25 日 (土) 10:30 ~ 18:15
開催場所 : 神戸大学経済経営研究所 新館 2 階 会議室
主 催 : 神戸大学社会科学系教育研究府 / 神戸大学経済経営研究所
共 催 : 科学研究費補助金・基盤研究 (A) 「デフレ・円高・財政危機: バブル経済の後遺症に
関する包括的理論・実証分析と政策対応」 / 神戸大学金融研究会 / RIEB セミナー

【ワークショップ趣旨】

2012 年末の安倍晋三内閣発足以降、政策当局は、デフレ脱却と経済回復を政策目標とした上で、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」を「3本の矢」とした「アベノミクス」と呼ばれる一連のマクロ経済政策を推し進めており、アベノミクスの効果は、国内だけではなく世界からも注目を集められている。特に、拡張的財政・金融政策は当初から積極的に行われ、そして、その後の円安株高といった金融市場の改善や消費主導による景気回復が顕在化してきていることもあり、財政金融政策の効果の有効性を指摘する声も多い。

ただし、その効果には賛否両論があることも事実である。その背景には、学術的な視点から行われてきたこれまでの実証研究において、これまでの財政金融政策の実証的な評価に関するコンセンサスが得られているとは言い難いことにあると考えられる。

政策研究ワークショップの趣旨は、先端的な学術研究の成果を幅広く世に広めるとともに、研究者と政策当局の問題意識を整理・共有することにある。今回のワークショップでは、研究者による最新の財政・金融政策効果に関する実証研究の報告を行うと共に、研究者・政策当局双方の立場から、これまでの政策評価や今後の政策課題に関して議論を行い、政策論議を整理し、問題意識を共有することを狙いとする。

【プログラム】

10:30~12:00 報告 1 神戸大学経済経営研究所 准教授 柴本 昌彦 氏
“Decomposing the Effect of Monetary Policy in a Low Interest Rate Environment”

《お昼休憩》

13:00~14:30 報告 2 一橋大学経済学研究科 教授 塩路 悦朗 氏
「財政政策に関する日次指標の構築」

《休憩》

- 14:45～15:45 報告3 日本銀行 金融市場局長 山岡 浩巳 氏
「非伝統的金融緩和—その実践と経験—」
- 15:45～16:45 報告4 財務省大臣官房 総合政策課長 大矢 俊雄 氏
「日本経済と財政の現状分析と課題～アベノミクスの目指すもの」

《休憩》

- 17:00～18:00 座長 大阪経済大学経済学部 教授 高橋 亘 氏
コメント 一橋大学経済学研究科 教授 塩路 悦朗 氏
神戸大学経済学研究科 教授 地主 敏樹 氏
自由論議

18:00～ 閉会挨拶 神戸大学経済経営研究所 所長 上東 貴志 氏

18:30～ アフターセッション

【対象】

教員、院生、および同等の知識をお持ちの方。

【使用言語】

日本語

【参加申込み】

申込〆切： 10月8日（水）

申 込 先： 神戸大学経済経営研究所 共同研究推進室

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 2-1

TEL：078-803-7036 E-mail：kenjo@rieb.kobe-u.ac.jp

※受講を希望される方は、お名前・ご所属（学生の場合は修士・博士課程等まで、教員等の場合は講師・准教授・教授等まで）を明記の上、メールでお申し込みください。

※ワークショップ終了後にアフターセッション（夕食含む）を予定しております。

詳細につきましては、お申込のご連絡をいただいた方宛に、あらためてご連絡させていただきます。

※下記必要事項をご記入の上お送りください。

氏名（ふりがな）

所属・役職

アフターセッション 参加（ ） 不参加（ ）

昼食（お弁当） 要 不要

連絡先（メールアドレス）

【アクセス】

阪急電車「六甲」駅、JR「六甲道」駅、阪神電車「御影」駅から市バス 36 系統「鶴甲団地行」乗車、「神大正門前」下車、正面の階段を上がって徒歩 5 分ほど。

新幹線「新神戸」駅からタクシーで約 20 分。

